

POWER
FILE★1143FM
94.9

歴史は未来のために。語り合う、その先に続く“夢”

70周年ラジオオムニバス

Sonosaki 70

～夢は叶う！～

70周年記念スペシャルプログラム
オンエアスタート！この時代に迎えたこの節目。思い出と未来が交錯する記念番組。

1951年、クリスマスイブ。京の街に初のコールサインが鳴り響き、KBS京都(当時:ラジオ京都)は産声を上げました。そこから今日までの歩みは、そのまま民間ラジオ放送の歴史に重なります。そして今年、迎えた70周年の節目に、ともに歩んでくれた人と街へ改めて感謝を伝えたい。そして、コロナ禍の世にあっても、その先に新たな夢と希望を指し示したい。そんな想いを抱いてこの春、スペシャルプログラム『70周年ラジオオムニバスSonosaki 70～夢は叶う！～』(木/17時30分～18時)をオンエアスタートさせました。

歴代番組パーソナリティをはじめタレントやアスリート、京都の文化人や経営者まで。各界のオピニオンリーダーが数珠つなぎで出演。ナビゲーターを務めるKBS京都アナウンサーとともに「歴史」を振り返り、「今」を見つめ、「未来」に夢を見出すトークをお届けします。

ラジオ界のレジェンドがトップバッター。笑いいっぱいの幕開けに。

番組は4月1日(木)スタート。記念すべき初回には、ラジオ界のレジェンドパーソナリティ、つボイノリオさんが出演しました。KBS京都ラジオでは、若者を熱狂させた伝説の深夜ラジオ『ハイヤングKYOTO』をはじめ、朝ワイド『つボイノリオのおはようアドベンチャー』や2018年ま

で放送していた『つボからボイン』などを担当。久しぶりのKBS京都のスタジオで、ますます磨きがかかった話術を披露しました。

大御所パーソナリティを前にやや緊張気味のナビゲーター、澤武博之アナに、KBS京都の思い出を語るつボイさん。旧社屋で番組の打ち合わせをした後、KBS京都が現在の社屋へ引っ越し。事情を知らなかったつボイさんは、放送当日に跡形もない旧社屋で呆然とし、ドッキリだと思ったと振り返ります。また、他地域ではたびたび注意された下ネタトークがなぜか京都では許され、逆に意外なことで苦情が寄せられたというエピソードも飛び出しました。京都ならではの美学、流儀にふれたというつボイさんから、「京都愛」が滲みます。

想いのままにおしゃべりしているうちに、あっという間に30分。「まだまだ話したりない！」と、つボイ回は延長となり、2週またぎで王者のトークをラジオから響かせました。

KBS京都ゆかりのあの人が、この人が続々登場。期待を寄せて。

つボイさんからバトンを受け取り、第3回で登場するのは若宮テイチ子さん。つボイさんと同時代に『ハイヤングKYOTO』金曜日を担当



しました。深夜のAMラジオを舞台に、洋楽主流の選曲と軽快なトークで紡いだおしゃべりな世界観が、今も若宮さんのおしゃべりに息づいています。

つボイさんとはまた異なる視点から語られるラジオの思い出に、耳を傾けるナビゲーターの森谷威夫アナ。さらにその先にある夢へもアプローチした収録となりました。

またパーソナリティのみならず、各界のオピニオンリーダーも登場するこの番組。第4回は、高齢者講習やドローン教室の開催、プリウスやレクサスの教習車導入など、業界での先駆的な取り組みで知られる岩倉自動車教習所の代表取締役、駒垣裕澄さんが出演します。その後も、リスナーにとっておなじみのあの人からお久しぶりのあの人、さらには京都で誰もがご存知のあの人まで。KBS京都ラジオゆかりのタレントや文化人、経営者らが登場予定です。

番組は、KBS京都のホームページ上でアーカイブ化。聴き逃してしまっても、ウェブでオンエアをチェック



することができます。どんな話が語られるのか。どんな夢や希望が見えるのか。番組が紡ぎ出す物語にご期待ください。『70周年ラジオオムニバスSonosaki 70～夢は叶う！～』は毎週木曜日17時30分からのオンエア！ KBS京都ラジオは70周年イヤーを“Sonosaki”で走り切ります！

KBS京都Radio